

KiKiの広場

2022年 2月 1日

cafe NO.136
KiKi



新型コロナウイルスのオミクロン株の急速な拡大により、2月から山口県全域に「まん延防止等重点措置」が適用されることになりました。お客様からは、「ヒストリアはどうなるの?」「また使えなくなるの?」と心配の問い合わせが相次いでいます。これに関しては、宇部市役所のホームページに「従来通りの感染防止対策を盛り込んだ各施設のガイドラインにそって利用が可能です。」とありますが、この度は、ヒストリア宇部従来の感染対策に加え、特に「第2交流室(金庫の扉の部屋)」については、換気用の窓が無いこともあり、基本使用不可とさせていただきます。ご利用の皆様には、大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

2月の予定

休館日	8日(火)
定休日	毎土・日・月曜日



「気まぐれシェフのKiKi オリジナルシフォンケーキ」

「ハッピーチョコ♡シフォンケーキ」 300円

ココア生地にチョコチップを混ぜ込んだ、しっとりフワフワなシフォンケーキ。チョコチップは、ちょっとビターでオトナ味です。

今月のお気に入り…「冬の絵本」

～「おぼけの冬ごもり」「ゆきのひのうさこちゃん」「おしくらまんじゅう」「チョコレートだいすき」「ゆきむすめ」 などなど ～



「おぼけの冬ごもり」は、お化けシリーズの川端誠さん。川端さんは、幽霊は人にたたるが、お化けは場所と時間にたたる、人が暮らしのルールを守らなかったり、自然のルールを守らなかったりして、場所や時間を違えて行動すると出てくるのがお化けだと言われています。「お化け」は庶民が考えた、正しく暮らすための方便で、お化けたちはこの日本という風土の正しい暮らしをしているのではないかと、そう考えて自分たちの風土を愛し、活気ある一日とは何かを感じてもらいたくて、お化けシリーズを作られたそうです。

今月の本棚…「いろんな鬼に出会おう！」

～「鬼といいまめ」「こんにちはおにさん」「ソメコとオニ」「こぶじいさま」「まゆとおに」「だいくとおにろく」「鬼のかいぎ」～



「鬼といいまめ」は、節分に豆まきをする理由と、まく豆は煎り豆がいいということがよくわかるお話です。ただお話の中に出てくる鬼は結構誠実で、ちょっぴり気の毒な気もします。(´_`) 「こんにちはおにさん」は、内田麟太郎さん作ですが、絵が広野多珂子さんなので、いつもの内田ワールドとは違い何ともふんわかほのぼのした絵本です。気の弱い鬼と仲良しのタヌキとイタチのお話ですが、心が傷ついた鬼を、何とか元気づけたいタヌキとイタチの想いが愛おしく、また2匹に対する鬼の想いも切なくて、ぎゅっと抱きしめたくなるような可愛い絵本です。



ほっとフレイク

誰もが知っている「ないたあかおに」。作者は、「日本のアンデルセン」と称される浜田廣介さん。1933年、雑誌『カシコイ小学二年生』8月号から、「おにのさうだん」のタイトルで連載が始まり、後に道德の教科書に採用され、初版から90年近い年月が経ちますが、今もなお学習教材として取り入れられています。作者は、総本山金剛峯寺の国宝の運慶作の力強い恵喜童子像に感動し、童話の中に新しく日本の鬼を生かして書いてみたいと思ったそうです。恵喜童子とは、知恵をめぐらし、その知恵を人に与えて喜びとする童子だそうです。えがかれている赤鬼と青鬼は、まさにその精神と行動に溢れていると思いました。たくさんの絵本がいろいろな画家によって出版されていますが、その中から今回は5冊ほど紹介したいと思います。どうぞ読み比べてみてください。お気に入りの1冊に出会えたら嬉しいです。

